



2019年6月13日発行 会報第976号

今週のプログラム

(2019年6月13日第976回例会)

第21回 創立記念例会「月光の間」

担当：山田 克子 親睦委員長

次週のプログラム

(2019年6月20日第977回例会)

今年度最終例会(移動例会)

「会長・幹事退任挨拶」

「優良出席者表彰」

藤田会長・水島幹事

第975回例会 (2019年6月6日) の記録

<会長の時間>

藤田 芳浩会長

皆様 こんにちは、お元気ですか！いよいよ6月に入りました。すでに沖縄は梅雨入りです、今週末からは四国・近畿地方での梅雨入り発表があるのではとの事です。2018-2019年度も本日の例会を含めて残り3例会となりました。どうか最終例会まで皆様のお力添えを頂き充実した例会となるようお願い致します。次週は、「創立記念例会」ですので、多くの会員・ゲストにご参加を頂きますよう再度ご協力願います。そして最終例会は以前にも申しあげました江坂のレストラン「ル・ジャルダン」で移動例会として開催致しますのでお間違えない様をお願い致します。さて前回5月30日例会は黒川 彰夫会員が卓話を担当されました。その内容を会報で非常に興味深く読ませて頂きました。私も真言宗ですので、毎月のお参りの時に耳にする言葉が沢山ありました。なるほどそういった事だったのかと思い、般若心経を一度よく読んで見ようと思った次第であります。同じ日・同じ時間にメイクアップしておりました福島21ロータリークラブでのお話をご報告いたします。次年度の2019-2020年度は、オリンピックの聖火リレーにクラブで参加される様で、その準備で盛り上がっていました。さらに2020-2021年度は、創立20周年となりますので、伊東 淳一会長のもと2021年5月に「創立20周年記念例会」を予定されておられます。また、年間プログラムについてもお聞きしました。やはり各クラブでそれぞれ特徴のある年間プログラムを組まれておられますが、その中で興味を持ちましたのがクラブ協議会(club assembly)の開催方法です。ロータリー用語で、クラブ協議会を調べますと以下の説明がありました。「クラブ協議会は、クラブのプログラムと活動もしくは会員教育について協議するために開かれる、クラブ役員、理事、委員会委員長を含むクラブ会員全員の会合である。すべてのクラブ会員は、協議会に出席することが強く奨励されている。クラブ会長、もしくは指定された他の役員が、クラブ協議会の議長を務める。」とありました。福島21ロータリークラブはこのクラブ協議会を例会としてプログラムに組み込んでおられます。今年度活動計画が2回、報告が2回、次年度活動計画が2回合計6回開催との事です。つまり例会とする事により全員参加と情報の共有が確保されているようです。参考になるのではと思いました。

<お客様> 無し |

<出席報告> 西本 明文 出席担当

会員数 (内出席免除会員 1 名) 20 名

本日の出席者数 (内出席免除会員 0 名) 13 名

(内名誉会員 0 名)

本日の出席率 68.42 %

前々回(5 月 23 日)の修正出席率 89.47 % |

<ロータリーソング> 全会員

♪国歌「君が代」♪

♪奉仕の理想♪

<ピアノ演奏> 近藤美里さん

1. The Rainbow Connection

2. 亜麻色の髪の乙女

3. 瞳を閉じて |

<幹事報告>

水島 洋幹事

1. 昨日、グループメールにて会報と共に6月20日開催 移動例会会場「ル・ジャルダン」のホームページ URL を配信しましたので、アクセスをご確認下さいます様
よろしくお願ひ致します。
2. 本日例会終了後、「おしどりの間」にて新旧合同理事会を開催致します。
今年度及び次年度理事・役員の皆様はご出席下さい。

<今月誕生の会員>

22日 岸上 和典会員 25日 水本 徹会員



<SAA報告>

松田 親男副SAA

*スマイルボックス

- 西本明文会員 代行卓話をさせていただきます。
黒川会員 夏ですね！
西本詩子会員 今日の卓話頼みました。うまくいきますように。
山下会員 コメントなし。
藤田会員 コメントなし。
岸上会員 コメントなし

*ロータリー財団

- 水本会員 今年度最後の財団寄付です。
藤田会員 合同理事会 皆様よろしく。
黒川会員 暑い！
岸上会員 コメントなし。
山田会員 コメントなし。
山下会員 コメントなし。

*米山記念奨学会

- 黒川会員 山田さん、創立記念例会お世話になります。
松田会員 上着なし、ネクタイなし、完全クールビズ、ご免。
岸上会員 コメントなし。
山本雅之会員 コメントなし。
山下会員 コメントなし。

*ラオス基金

- 黒川会員 誰か、ラオスに行く？
西本詩子会員 主人の運転が心配です。
山下会員 コメントなし。
岸上会員 コメントなし。

*メイプル基金

- 藤田会員 西本明文会員、卓話楽しみです。
水島会員 西本会員、卓話よろしくお願ひします。
西本詩子会員 牡丹、ひまわりの美しい季節です。
松田会員 27日(木)は大変な交通状況になりそうです。
黒川会員 新しい会場探しよろしく。
岸上会員 コメントなし。

明治37年（1904年）10月15日ロシア皇帝ニコライ二世に見送られ、ロシアのバルチック艦隊（ロシア第2太平洋艦隊25隻は司令官ロジェストウェンスキー中将に率いられリバウ港（バルチック湾）を出撃した。戦艦7隻の内、喫水が深い5隻はスエズ運河を迂回してアフリカ喜望峰をまわって、インド洋にあるマダガスカル島ノシベ錨地で合流した（1905年1月9日）。

その時旅順港は日本軍に占領されていた。

ニコライ二世皇帝は旅順艦隊に代わる第3太平洋艦隊を編成するからノシベでその到着を待てと命令した。

しかし、司令官ロジェストウェンスキーは「行きはナガサキ」などとふざけた電報を打ち、再度ノシベの待機を命令されると「司令長官解職要求」の電報を打ち返した。このように艦隊の士気もゆるんでいったようだ。

その頃本国（ロシア）では1月22日首都ペテルスブルグで起きた「血の日曜日」と称される流血事件が起き艦隊内の雰囲気と無関係ではなかった。

わが艦隊はいったいどこへ行こうとしているのか。艦隊内の士気は倦怠に耐えられない雰囲気だが、今はロシアに残された唯一の戦力となってしまった。「あー、不運なロシアよ、汝の困難は何時終わるのか、一難去ればまた一難が起こるのは汝の運命か。」と、艦隊の乗組員が故郷に手紙している。

しかし、バルチック艦隊は東航し、マラッカ海峡を通過して4月4日、ベトナムに到着した。そして、カムラン湾の北方バンフェン湾に投錨した。（当時ベトナムはフランスの植民地であった。）そこで第3太平洋艦隊指令スカトフ少将の到着を待ち、5月14日カムラン湾を出港、日本海のウラジオストックに向けて出港したのである。

当時、日本連合艦隊は朝鮮半島の鎮海湾に停泊していた。

バルチック艦隊は恐らく対馬海峡を通過して日本海へ、そしてウラジオストックに向かう航路を通ると推進警戒を怠らなかつた。

予想どおり5月27日バルチック艦隊は対馬海峡に迫ってきた。明治38年5月27日午後1時55分 日本海軍戦艦三笠船上に国旗が揚げられた。

その意味は「皇国の興廃此の一戦にあり、各員一層奮励努力せよ」である。

我々は此の歴史に学び本当の平和と繁栄を学ばなくてはならない。